

2026 年 9 月 15 日

アジア太平洋地域が世界の航空市場を牽引、19,120 機の新規航空機需要

エアバス（本社：仏トゥールーズ、最高経営責任者：ギヨム・フォーリ）は 15 日（香港時間）、¹アジア太平洋地域における最新の航空機市場予測「グローバル・マーケット・フォーカスト 2026-2045」（GMF）を発表しました。それによると、アジア太平洋地域は今後 20 年間、世界の航空市場が成長するうえで主要な牽引役となります。

同地域の旅客輸送量は年平均成長率（CAGR）5.1%で成長すると予測されており、世界平均の 3.9%を上回り、予測期間中に輸送量は 2 倍以上に増加する見込みです。アジア太平洋地域では、この期間に 19,120 機の新規旅客機が必要になると予測されており、これは同期間における世界の新規航空機需要 42,060 機の 45%に相当します。

今後 20 年間、アジア太平洋地域で必要となる新造航空機 19,120 機のうち、3 分の 1 は既存機の更新向け、残りは拡大する需要に対応するためのものです。この成長を支えているのは、この地域における堅調な経済成長です。アジア太平洋地域の中間所得人口は 2045 年までに 30 億人に達すると予測されています。急速な都市化に伴い、航空機による移動は社会的にも経済的にも不可欠なライフラインとなりつつあります。

アジア太平洋地域はワイドボディ機の引き渡し数の大部分を占め、3,420 機の新規需要が見込まれています。これは新規ワイドボディ機全体のほぼ半数に相当します。

エアバスは航空会社のワイドボディ機に対するニーズに A330neo と A350 ファミリーで応えています。この 2 つのファミリーにより、エアバスは過去 3 年間で同地域におけるワイドボディ機の受注残の 50%を占めるまでに成長し、特に A350 は同地域の航空会社にとって長距離大陸間路線における最適な機種として確固たる地位を築いています。エアバスの最大機種となる A350-1000 は 777-300ER の代替機として導入数を拡大させています。

アジア太平洋地域における航空需要は単通路機が占める割合が大きく、2045 年までに 100~244 席の単通路機が 15,700 機必要になると予測されています。この需要は機材の更新と長期的な輸送能力の増大に牽引され、国内および地域内路線が継続的に拡大することを反映しています。

新たに建設される空港インフラに加え、A321XLR や A220 といった長距離向けの汎用型単通路機の開発により、航空機の接続性が向上しています。このため、新たな都市間の路線が開設され、従来の巨大ハブ空港を迂回して地方都市を結ぶことが可能になっています。

A220 は新たな小規模路線を開設する重要な機材として、すでに世界中で 400 以上の新規路線を創出しています。アジア太平洋地域においても A220 によって 800 以上の未就航都市の路線が開拓され、さらなる拡大の可能性を秘めているとエアバスは予測しています。

Follow us

If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com

If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com

エアバスのアナンド・スタンレー アジア太平洋地域プレジデントは以下のように述べています。「アジア太平洋地域の路線網とその接続の仕方には変化が見られます。長距離路線が継続的に拡大しているのに加え、航空会社は従来の『ハブ・アンド・スポーク』を超えて地方都市を直接結ぶ分散型路線を構築しています。アジア太平洋地域の各社は最新世代の航空機を採用することで接続の方式を変えていき、同地域の長期的な経済繁栄を牽引します」

2026年8月末時点で、アジア太平洋地域の119の航空会社が5,000機のエアバス機を運航し、シェアは58%に達しています。また、約3,500機が今後引き渡し予定です。これは、100座席以上を装備した航空機市場における受注残の61%に相当します。

¹ アジア太平洋地域における主要市場には、中国、インド、太平洋諸島、東南アジア、北アジアが含まれます。

Newsroom

リリースに関するお問い合わせ先：エアバス・ジャパン株式会社

藤宗宇多子
03-5775-0133
utako.fujiso@airbus.com

野坂孝博
03-5775-0129
takahiro.nosaka@airbus.com

Follow us



If you wish to update your preferences to Airbus Communications, media@airbus.com
If you no longer wish to receive communications from Airbus, media@airbus.com